

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	◎	通信会社（運用担当）	・物価高政策により、景気は良くなる。
	○	一般小売店〔印章〕（経営者）	・年末が近づき多少動きが良くなってくる。新年度前には例年同様の傾向がみられる。
	○	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・イベントが多くなり、来客数も増え、売上増加につながる事が期待できる。
	○	百貨店（営業担当）	・インバウンドと購買率が急速に伸びている。この傾向が続けば、他地域より遅れてではあるが、全体的なプラス効果につながる可能性がある。
	○	スーパー（店長）	・お歳暮やクリスマス、年末需要を背景に、景気が良くなることを期待したい。
	○	コンビニ（店長）	・寒さの到来で人出は鈍化傾向にあるものの、インバウンドが好調を維持している。来客の大半は欧米からであり、中国懸念の影響は大きくないと考えられる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・単価上昇が続いており、売上は必然的に伸びる。年度末に向けて公共工事も増えており、来客数の増加も期待できる。
	○	衣料品専門店（代表）	・ガソリン暫定税率廃止や物価高対策の効果が徐々に現れてくるとみられる。
	○	家電量販店（企画担当）	・経済政策が少しずつみえてくると考えられ、それに伴って景気が良くなると期待できる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・今月は来客数が激減した。年末商戦や今後の商品需要に期待したい。
	○	乗用車販売店（業務担当）	・物価の上昇は避けられないが、新型車種が発売されるため、多少は良くなっていく。
	○	乗用車販売店（店長）	・新型車の発売予定も控えており、市場が活性化するとみられる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新規客の来店や問合せが増え始めている。年末のボーナス商戦から初売り、決算期にかけて販売台数も増える見込みである。ガソリン暫定税率廃止や生活費補助など、消費促進施策の効果に期待する。
	○	乗用車販売店（統括）	・新型車の効果が見込まれる。
	○	その他専門店〔時計〕（経営者）	・物価上昇に連動していないが、賃金は上昇傾向にあるため、個人消費は徐々に上向くと考えられる。
	○	その他専門店〔宝石店〕（店員）	・物価上昇の影響で消費意欲は落ち込んでいるものの、金価格の上昇を背景に、金の購入を考える人が増加している。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今年の冬は気温低下が予想されており、衣料や寝具関連、ホットメニューを中心とした食材や飲食メニューの拡大が見込まれる。
	○	一般レストラン（経営者）	・年末に向けては、ボーナス支給や忘年会などのイベントをきっかけに、人の動きが良くなるとみられる。
	○	バー（経営者）	・12月は改善が期待されるものの、その後の動向は不透明である。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・12月及び1月の宿泊予約ペースは、前年と比べて10%以上良くなっている。
	○	旅行代理店（支店長）	・年末年始の需要は堅調で、国内外共に前年超えの見込みである。更なる地方創生対策で旅行需要喚起に期待する。
	○	競艇場（企画営業担当）	・2～3か月後の1月と2月の1日平均売上は、若干増加するとみられる。
	□	商店街（代表者）	・新規開店の店があり、新たな客層の取り込みを期待できるが、気候の影響により人通りは減少傾向になることが予想される。客は余計な物を購入しないなど、財布のひもは相変わらず固い。
	□	商店街（理事）	・希望的観測を含め、今以上に悪くなってほしくない。
	□	一般小売店〔食品〕	・商品単価の上昇により販売量の増加は見込めず、売上に変化はないとみられる。
	□	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・商品価格の上昇が落ち着いてきた。
	□	百貨店（広報担当）	・新政権による経済対策等は発表されたが、物価高が続いており、賃上げによる可処分所得の大幅な増加は見込めない。特に中間層の消費に大幅な変動はないと考えられる。
	□	百貨店（営業担当）	・足元の商圈はやや改善傾向だが、中国の動向が不透明である。

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・購入する客は高額商品に集中する一方で、購入しない客は少額品でも手が出せず、中間層の購買がほとんどない。その結果、客層は2極化し、格差が更に拡大しており、この傾向は当面続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・景気が変わる兆しがない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	・今後の動向は、気温の状況で大きく左右されるが、おおむね安定しているとみる。春先以降の状況は全く読めない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・株価は上昇し続けているものの、物価の上昇により中間層の購買意欲は伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・現状は変わらないとみられる。年末年始に向けても消費を刺激する好材料は見当たらない。物価高騰が続く限り、消費行動は厳しいと予測する。逆に、現状よりも悪化する可能性も低く、現状維持とみられる。食品分野では、より低価格帯の商品構成が拡大するとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・客の節約志向は続いており、必要な物の購買は、特売やチラシ掲載商品、割引セールス日に集中する傾向がみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・値上げが続いている一方で、賃金のベースアップは物価上昇に追い付いていない。今後とも来客数と販売点数は減少するが、値上げにより売上が維持できる状況が続く。ただし、利益は縮小していく傾向に陥る。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・政府の21兆円規模の経済対策が、どれほどの効果があるか不透明である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務開発担当）	・最低賃金引上げやボーナス効果は、年末から新年にかけて現れる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・クリスマスや年末年始の予約販売が平年並みに推移している。一方で、特売日にまとめ買いをする傾向があり、来客数は特売日に跳ね上がっている。寒さの到来による光熱費の上昇で、節約志向は続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・全体的に物価の上昇が続くなかで所得は変わらず、閉塞感がある。景気対策に期待したい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（財務担当）	・今後も商品単価の上昇は続くものとみられ、物価高騰による節約はあるものの、来客数が維持できれば現状の景気は続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（支店長）	・円安や賃金上昇が中小企業に大きなダメージを与えている。ここへの政策効果がない限り、経済の好循環は期待できない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・不安要素はあるが、これ以上は悪くならない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・余り景気の良くなる要素がみえてこない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・着物や帯に限らず、裏地や掛け地、半襟等の仕入価格も上昇しており、大変な状況となっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・特別な景気対策はなく、商売は低調なまま推移するとみられる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	・商品によって浮き沈みはあるが、全体的な進捗は横ばいで推移するとみられる。ただし、パソコンのOSアップグレードに伴う需要が一段落したので、販売は低迷する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・車両の買換え時期を迎えているにもかかわらず、客が購入を先延ばしする傾向があり、販売が低迷している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（リース担当）	・今のところ景気が良くなる状況ではないが、首相交代によって流れが変われば、多少は好転する可能性もある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・今年最後の月を迎えるにあたり期待はあるが、先行きは不透明である。稼働日数が限られるため、早めに手を打って改善に取り組み、良い形で年を締めくくりたい。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・来場者数が増えない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・商品の値上げは続いているが、収入は伸び悩んでおり、出費を控える傾向はこれからも続くとみられる。米券の配布では、消費者の反応はないと予測される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔革製品〕（店主）	・国の政策が軍事産業などに偏っているため、プラス面とマイナス面が両極端に現れる可能性があると考えられる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（事業戦略担当）	・景気を左右する大きな要因はない。

□	一般レストラン（経営者）	・忘年会の予約は前年を上回り、売上も現状の水準を維持している。しかし、食材価格の上昇に対して、この時期に値上げを実施することは難しく、粗利益の確保が困難になっている。また、人件費を始めとする経費の増加が重なり、経営的に苦しい状況になるとみられる。
□	一般レストラン（店長）	・しばらく来客数の減少は続くと思われる。物価高騰による家計へのダメージは大きく、外食は真っ先に削減対象となると考えられる。
□	観光型ホテル（副支配人）	・年末年始は曜日の並びが良く、前年より宿泊予約は増えているが、正月を過ぎれば前年と余り変わらない。
□	都市型ホテル（宿泊担当）	・冬季のオフシーズンとなるが、当県を舞台としたテレビドラマの放送により露出が増加しており、引き続き需要拡大が期待される。
□	タクシー運転手	・11月末から繁忙期に入るが、余り期待できない。前年の12月も好調ではなかったため、今年も厳しいとみられる。
□	タクシー運転手	・忘年会シーズンを迎え、多少は忙しくなるが、余り期待はできない。インバウンドについては、元々少なく、中国との関係による影響はないとみられる。
□	タクシー会社（営業所長）	・特にイベントはなく、企業が忘年会を開催しない傾向にある。観光シーズンが終了し、関連業務も減少する見込みであり、全体的な見通しは良くない。
□	通信会社（総務担当）	・物価高が続き、効果的な施策も出てこないため、今月よりも良くなることはない。
□	通信会社（企画・総務担当）	・競合が強まり、顧客の取り合いが続く。
□	通信会社（企画担当）	・広く一般の中小企業ではボーナスの改定幅は小さく、節約志向は年初以降も続く見込みである。
□	通信会社（営業担当）	・節約状況に変化なく、好転の兆しはない。
□	テーマパーク（営業担当）	・イルミネーション期間中の1月中旬までは集客効果が期待できるが、その後は閑散期になる。
□	美容室（経営者）	・客は物価高に対応して節約をしながら生活しており、現状を維持している。この状況が急に崩れることはないと思われるため、当面大きな変化はない。
□	美容室（経営者）	・景気が好転してほしいが、いろいろな物の値上がりで節約志向が強くなり、先行きに不安を感じている。
□	設計事務所	・案件はコンスタントに続ける必要があるものと、余力に応じて進める追加投資案件に分類される。追加投資案件については時期が不明であるが、コンスタントに続ける案件は予定どおり進捗する。
□	設計事務所（経営者）	・建築コストが高騰し続けているため、引き合い物件の成約が見通せない。
□	設計事務所（経営者）	・購入希望客は一定数いるが、多くはないため販売の伸びがみられない。
□	住宅販売会社（事業推進担当）	・完成物件は足場が外れ外観が見えるようになり、購入意欲の高まりが期待される。しかし、依然として工事費高騰が続き、ゼネコンとのコスト決定にも時間を要しているため、販売価格が下がる可能性は低い。
▲	商店街（代表者）	・冬場に入り、国内外の観光客が減少する。
▲	商店街（代表者）	・購買に慎重な客の姿勢に変化はない。
▲	スーパー（店長）	・来客数の割に販売数量は減少している。また、果物や牛肉といった高単価及びし好性の高い商品の動きは鈍い。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・来年初めにメーカーの値上げが予定されており、物価高と賃金安の差が広がることで、商品の販売が一層厳しくなる懸念がある。
▲	その他専門店 [和菓子]（経営者）	・インバウンド減少の影響があるとみられる。
▲	都市型ホテル（企画担当）	・業界的に閑散期に入る。
▲	都市型ホテル（宿泊担当）	・先行受注は前年を下回っており、インバウンド及び国内レジャーの需要が落ち込むと予測している。
▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・今後の政府の家計に対する補助施策にもよるが、物価上昇と賃上げの格差拡大が懸念される。
▲	通信会社（広報担当）	・物価上昇に対して客の感覚が追いついていない。このままでは、景気回復は期待できない。

	▲	テーマパーク（業務担当）	・12月以降は、雪の心配などで事前予約が少なく、前年度の60～70%の状態である。
	▲	ゴルフ場（営業担当）	・単価引上げの影響と考えられるが、今年は予約の入りが遅い傾向にある。
	▲	美容室（経営者）	・物価高騰に伴い、消費者の財布のひもが固くなっている。まだ様子をうかがっている状況とみられる。
	▲	住宅販売会社（住宅設計担当）	・戸建て住宅の着工戸数は年々減少傾向にあり、運搬費や物価の上昇の影響により、戸数減少が続く見通しである。
	×	商店街（代表者）	・米国の関税の影響により、県内大手自動車メーカーの業績が低迷し、更にカキの不作も重なって、地域の消費が落ち込み、消費者マインドも非常に低い。
	×	コンビニ（エリア担当）	・来週からおむすびが値上がりする。3年前には120円、130円で購入できたものが、200円と大幅に高騰している。その影響により、最近はおむすびより安価なパンへと消費が移る傾向にある。これまでは値上げによって購入点数が減っても売上は伸びていたが、今後はそうした効果が期待できず、状況は一層厳しくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・日中関係の問題で、低価格商品の供給が難しくなり、インバウンドも減少する可能性がある。
	×	観光型ホテル（予約担当）	・例年12月からは閑散期になり、現時点で予約がほぼない。また、インフルエンザによるキャンセルが出ており、今後も増える予想する。
企業 動向 関連  (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新車の立ち上がりがあり、忙しい状況が続く。
	○	化学工業（総務担当）	・米国の関税、中国問題、円安等、様々な要因で様子見となっている取引先が見受けられる。こういった局面においても、対策と改善が図れば、景気は徐々に良くなっていくものとみられる。
	○	一般機械器具製造業（管理担当）	・円安の影響で原材料費は上昇しているものの、売上を押し上げる効果の方が大きい。新規事業の立ち上げを計画しており、生産も上向く予定がある。
	○	輸送業	・受注が増えている。
	○	通信業（営業担当）	・DX投資等の増加により、当社取引額も増加する可能性がある。
	○	金融業（経済産業調査担当）	・足元の急激な円安が輸出企業の収益を下支えすると見込む。
	○	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の本格的な需要時期は年明けであるが、近年は年内から探す傾向が強まっており、需要は改善する。
	□	食料品製造業（経営者）	・物価高騰の影響により買い控えや節約傾向が高まっているが、年末年始の特別な需要に期待したい。
	□	繊維工業（財務担当）	・年末年始にかけて購買活動は活発化するものの、購入を見合わせる場合もあり、適時購入の傾向が続いている。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・人手不足が解消されていないため、現状のまま推移する。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・スマートフォン向け材料の出荷は堅調を維持しているが、それ以外の景気に対する動きはみられない。
	□	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・取引先からの長期内示情報より、景気に変化はない。
	□	建設業	・今後も材料や資機材等の価格高騰が続く。
	□	建設業（経営者）	・企業の建設投資が慎重で、進捗しないプロジェクトが多々ある。一方で、小規模案件は着工延期があるものの、仕事量は変わらない。
	□	建設業（総務担当）	・大型案件では、中止や延期が発生した場合、技術者の空きを埋める対応が必要となるリスクがある。
	□	輸送業（企画担当）	・中国との関係が問題となっているが、当面はそれほどの影響がないものとみられる。
	□	輸送業（業務推進担当）	・特に大きなプラス要素やマイナス要素もなく、取引先の動向にも目立った様子はない。
	□	輸送業（営業担当）	・各企業担当者からのヒアリングによると、大きな変化はみられない。
	□	通信業（企画担当）	・地政学的な動きがない限り、状況に変動はないとみられる。
	□	広告代理店（営業担当）	・前月と比べて大きな変化はないが、年度末の予算消化による受注増加を期待したい。
	□	会計事務所（経営者）	・賃金上昇によるコスト負担が重く、投資意欲を阻害する。人手不足の影響も大きい。

	▲	農林水産業（従業員）	・水産物は良好な状態のものがほとんどない。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・中国との関係により、輸出、インバウンド需要の低下が見込まれる。
	▲	化学工業（総務担当）	・為替と物価上昇の動きが続くことで、景気は悪化する。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向け大口案件の生産が終了し、生産量が低下する。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	・今年1年間続いた客先からの特需は11月で終了し、円安による電力費上昇も見込まれることから、採算は厳しくなると予測される。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・海外事業は中国向けが多いが、今後の日中関係次第では渡航そのものに影響が出る可能性がある。
	▲	金融業（副支店長）	・為替の円安影響により仕入原価が増加しているものの、売価への転嫁が進まず、景気は悪化傾向にある。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから、景気は悪くなる。
雇用 関連  (中国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（支店長）	・例年、この時期は求職者数と求人数が最も増加するため、これまでより動きはあるとみているが、大きな変化の要因はないため、微増とみられる。
	○	人材派遣会社（事業部長）	・季節繁忙期における求人数は、前年を上回る勢いで年度末まで継続する見込みである。
	□	人材派遣会社（経営企画担当）	・人材派遣サービスの市場成長率の伸びが鈍化しており、地方においてはその影響が大きいとみられる。
	□	人材派遣会社（求職者対応）	・例年3月までは求職者数の大幅な増加は見込めない。
	□	求人情報誌製作会社（総務担当）	・忘年会の予約状況は件数、人数共に前年同期を超えているが、諸物価の上昇が収益を圧迫しており、事業主は景気回復を実感できていない。
	□	求人情報誌製作会社（新卒採用担当）	・採用者数は景気に連動することが多いが、2027年4月入社向けの採用者数に関しては変わらない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・首相の台湾発言の影響がいつまで続くかは不透明で、当面改善は見込めない。県内の観光業者を中心に危惧する声が多い。
	□	職業安定所（職員）	・ガソリン暫定税率廃止等、家計にはプラスの影響はあるものの、物価上昇に賃金が追いつかず、景気は変わらないと判断する。
	□	職業安定所（事業所部門）	・最低賃金の引上げによる個人消費の増加が見込まれる反面、中小企業の事業縮小や廃止が増加傾向にある。
	□	職業安定所（事業所担当）	・管内の状況をみると、企業の採用意欲に大きな変化はみられず、また、景気が大きく変動する要因は今のところ見当たらない。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・国内の大手企業の子会社でさえ採用に苦戦しており、従来は新卒採用のみであったが、この3年で中途採用を開始し、現在では新卒と中途の採用比率が五分五分となっている。大手企業が中途市場に参入したことで、中堅企業は採用で苦戦を強いられることとなり、中小企業では応募確保さえままならない状況となる。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・景気の良し悪しに影響する材料が身の回りでは特に見当たらない。
	▲	職業安定所（職員）	・求人件数の減少傾向は一朝一夕に改善する様子がないなか、日中関係の問題によるインバウンド減少が追い打ちとなり、さらなる減少につながる恐れがある。
	▲	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・年末年始で求職者からの登録数は減少傾向になるが、潜在層が顕在化していく時期でもある。
	×	—	—